

栃木県地域医療再生計画

●基本コンセプト

地域医療を担う医療従事者の確保・育成と4疾病5事業や精神科医療等に係る医療提供体制の整備による基盤強化・充実を図るとともに、医療機能の分化・連携を推進することにより、急性期から慢性期、在宅医療・介護に至るまでの切れ目のない「地域完結型」の医療提供体制を構築する。

重点戦略

医師等が集まる
仕組みづくりの推進

医師等のキャリア形成や多岐にわたる医療ニーズに応えられる技術習得やトレーニングができる環境の整備

主な取組

医療従事者の確保・育成

- ・「地域医療支援センター」設置に向けた調査研究・分析
- ・シミュレーション教育施設の充実
- ・看護職員向けの中小病院等の合同就職ガイダンスの開催
- ・潜在看護職員の現場復帰の促進 など

背景

医師・看護師不足

重点戦略

本県の特徴である
“高い脳卒中や心疾患死亡率”に
視点を置き、早期発見・早期治療を
行うための医療提供体制の整備

全国ワースト上位が常態化している循環器系疾患による死亡率の改善を図るため、脳卒中や心疾患等の高度専門・先進的医療機器等医療基盤の整備

医療提供体制の強化

- ・高度専門・先進的な医療機器の導入等によるがん診療水準の均てん化の推進
- ・脳卒中等の予防、早期発見・治療、再発防止に向けた取組強化
- ・総合周産期母子医療センターの後方病床や、NICUの後方病床を確保するための体制整備
- ・災害時医療の均てん化、災害拠点病院の医療提供体制やDMAT体制の充実強化
- ・精神科救急医療の整備推進

三大死因による死者数全国ワースト上位

重点戦略

全国モデルとなる
『地域基幹病院の統合再編
による地域完結型の
医療提供体制』の実現

経営形態の異なる地域基幹病院の経営統合・機能再編により、全国モデルとなる「地域完結型」の医療提供体制の再構築、更には三次医療機関である大学病院から診療所、地元市の保健センターまでの連携体制の整備

医療福祉連携体制の構築・充実

- ・県内全域での地域連携クリティカルパスの作成・運用など、病病連携・病診連携等の仕組みづくり・ネットワーク構築の促進
- ・在宅療養支援診療所、訪問看護ステーションの設備整備支援
- ・診療情報の共有化など施設間のネットワークシステムの全医療圏への普及
- ・電子カルテシステム導入による在宅医療ネットワーク体制の推進

三次医療機関の負担増